

(例 1) 弁天座で歌舞伎体験

概要

年に一度、絵金祭りで上演されている赤岡の伝統芸能・土佐絵金歌舞伎を、着物の着付け、メイクなどを行い、実体験することができます。



最後は、弁天座の舞台上で歌舞伎役者になりきって記念撮影。

これまでの観光商品

- ・ 着付け等
- ・ 記念撮影

『どっぶり』ポイント

歌舞伎体験のなかで、「赤岡の伝統芸能であること」を「弁天座の職員」が伝える。

背景や地域の想い

○ 地域の想いがつまった土佐絵金歌舞伎

- ・ 土佐絵金歌舞伎は、絵金の芝居絵に描かれている芝居を演じようと、地元有志により平成5年に始められた歌舞伎。絵金祭りの二日間に合わせて上演される。役者から大道具・小道具等のスタッフすべて素人で初上演し好評を博した。
- ・ 土佐絵金歌舞伎伝承会が、次の世代に伝えるために、こども用のかつらの購入などをクラウドファンディングで募り、令和5年12月に目標金額を達成。

○ 明治からの文化・交流の拠点 弁天座

- ・ 明治33年頃、芝居小屋「弁天座」ができ、若い人の遊び場だった。一度閉館したものの平成19年竣工。地域や世代を超えた文化交流拠点。

〔あかおか駅のやなせさんの「ごめん・なはり線のキャラクター」が集合しているスポットもあわせて紹介〕

(例 2) 土佐の清水さばツアー

概要

普段は、なかなか見ることのない市場の様子を見学したり漁協の職員さんや町を行き交う漁師さんや漁具の店主に話を聞いたり、地元ガイドと一緒にだからこそ、漁師町の雰囲気を楽しめます。



ご希望で清水さばのお刺身ランチをご用意できます。



これまでの観光商品

- ・ 市場の様子を見学
- ・ 町を散策
- ・ ランチ

『どっぶり』ポイント

町や市場の散策の中で、「清水サバへの思い」や「漁師町の歴史」を「地元ガイド」や「漁師さん」「漁具の店主」が伝える。

背景や地域の想い

○ ブランド化への想い

- ・ 漁協では鮮度の高い流通を図るため、立縄漁という独特の漁法で、一匹ずつ釣り上げ、たも網ですくい生け簀に入れ、活きたまま持ち帰り、漁師が駆け足で漁協の水槽に移す。（その姿を地元では「サバダッシュ」と呼ぶ。）



○ 土佐清水における漁業の暮らし

- ・ 太平洋に面し、すぐ沖を黒潮が流れるため漁場に恵まれ、県下でも有数の漁業の基地となっています。

